

みんなのじんけんまもれる福祉職場に

2026年3月12日は…

福祉保育労産別統一行動

今すぐ時間額
**260円以上、
月額36,000円**
の賃上げを

すべての
福祉職員に
時間額**2,000円**
以上を

ベースアップを
すすめて、すみやかに
全産業平均との
格差解消を

保育や高齢者福祉、障害福祉、社会的養護、学童保育などの福祉職場では、子どもや高齢者、障害のある人たちとその家族の生活と人権を支え続けています。しかしその賃金は、厚生労働省の統計調査でも、全産業平均と比べると、保育士は年収で120万円、介護職員は150万円の格差があります。また、非正規雇用の職員は、さらに低くなっています。

政府は、2009年から高齢者福祉・障害福祉の職場に、2013年から保育園等に、賃上げを目的にした処遇改善策を実施してきました。不十分ながらも賃上げがすすめられてきましたが、ここ数年は社会的な賃上げのもとで、全産業平均との賃金格差はまた広がってきています。異常な物価高騰のもとで、生活の厳しさは深刻になり、人材の確保・定着が難しくなっています。私たちの運動と世論の広がり、政府はようやく、高齢者福祉・障害福祉職場の職員の賃上げ施策を補正予算で講じ、6月からは臨時の報酬改定をおこなうことになりました。私たちは、保育の公定価格の引き上げ分も含めて、賃上げにつなげることを求めています。全産業平均との賃金格差の解消にはほど遠い状況です。

私たちは声をあげます。利用者と福祉職員の人権がまもられる福祉職場にするためです。福祉職場で働くなかまの産業別労働組合として、3月12日に、宣伝などの統一行動にとりくみます。労働者の生活を守る雇用責任を果たさない姿勢の経営者には、ストライキもかまえて最大限の譲歩を引き出し、事業所の収入となる報酬や公定価格を決めている国や自治体には予算・制度の改善を強く迫っていきます。

私たちの行動に対するご理解と、ごいっしょに声をあげていただくなどのご協力をお願いします。

子ども・高齢者・障害者・その家族と職員の
みんなのじんけんまもれる福祉職場に

大幅な賃上げ& 増員を求めます！

非正規雇用
だからって
差別しないで！

常勤職員を増やして
**安心・安全の
福祉職場に！**

平均年収が
ほかの産業より
**120万円も
低いなんて！**



全国福祉保育労働組合 2026年3月

〒111-0051 東京都台東区蔵前4-6-8

サニープレイスビル5F-A

電話03 (5687) 2901

FAX03 (5687) 2903

E-mail : mail@fukuho.org

HP: <https://www.fukuho.info>



福祉職場で働く
みなさん、ご相談を
お待ちしております！



福祉職場からSOS! 「やりがい」あっても10人に7人「やめたい」 みんなの声で福祉職員の大幅な賃上げ&増員を!

10人に5人が「とても疲れる」
7人が「やめたい」



普段の仕事での心身の疲れは?

2026年 とても疲れる48.1% 10年前から6.0ポイント悪化

仕事をやめたいと思ったことは?

2026年 いつも思っている11.8% 時々思う57.0% あまり思わない25.2%

全く思わない6.0% いつも+時々「やめたい」68.8% 10年前から3.1ポイント悪化

※福祉保育労「福祉職場で働くみんなの要求アンケート」(約3000人が回答)

障害福祉事業所・職員

毎月のように退職者が出て、募集してもなかなか応募もない。このままでは必死に働いている職員がつぶれてしまう。まずは賃上げを! 去る仲間がいることはとても悲しい。

介護事業所・ヘルパー

子どもが2人いて、1人は大学生で学費が高く、私の給与では到底まかなうことができない。物価高騰で生活も厳しくなっている。国として介護職員の給与を上げてください。

保育園・保育士

保育士配置の最低基準では安全を守れない。育児との両立が無理すぎて、やめるか悩む。仕事量が半端なく、疲れもピーク。軽自動車ではなく、ファミリーカーに乗りたい。

保育園・非正規雇用保育士

時給と仕事量が見合っていない。正規雇用の職員と同じ働きなのに、ボーナスはほぼなく、家計は厳しい。アルバイトと同じ時給で、仕事のモチベーションが下がる。

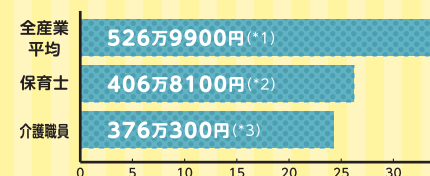
人と社会を支える仕事の賃金
すみやかに全産業平均に!



保育士や介護職員の賃金の低さは知られるようになりましたが、全産業平均との格差は広がっています。

厚生労働省の統計調査でも、年収では保育士で120万円、介護職員は150万円も低い状況です。ようやく政府は高齢者介護・障害福祉の職員の賃上げ(25年11月から月1万~1万9000円)、保育の公定価格5.3%の引き上げをおこないますが、この規模では格差解消にむけた道筋は見えません。

全産業平均と福祉職員の賃金格差は?



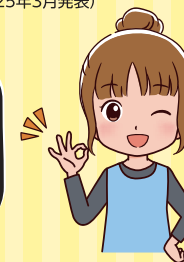
*1=35万9600円×12ヵ月+95円4700円(年間賞与その他)

*2=27万7200円×12ヵ月+74万1700円(同上)

*3=27万1000円×12ヶ月+50万8300円(同上)

※厚生労働省 賃金構造基本統計調査(25年3月発表)

賃上げと増員で
みんなのじんけんまもれる福祉職場に



賃金が低いことで、募集しても人手が確保できず、残っている職員に負担がかかって病休や離職につながる悪循環が起きています。職員を安定的に確保するためには、大幅な賃上げと、国が定めている職員配置基準の引き上げがセットで必要です。

国が責任をもって、福祉現場を支える職員が自らの生活を大切にできる環境を整備していくことで、福祉実践が積み上げられていきます。子どもたちや高齢者、障害のある人、その家族の人権と安心・安全をまもることができます。